

# 脊椎外科

## 1. 概要

脊椎外科は2005年4月1日より院内標榜科として新設された。現在、脊椎外科医は吉原永武（部長）、富田浩之の2名であり、整形外科スタッフの協力を得ながら診療を行っている。年間200件ほどの手術治療を行っているが、頸髄症、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアが脊椎外科における3大疾患であり、手術例のほとんどを占める。稀な疾患においては、名古屋大学整形外科脊椎グループと連携をとりながら、できるだけ当院内で高いレベルでの治療が行えるよう対処している。

脊椎疾患の治療には、保存的治療と手術的治療を病態に応じて選択し、的確に実施して行くことが重要である。保存的治療もさることながら、とりわけ手術的治療が必要な方に対する十分な治療の提供が当院の使命と考えている。当院での治療成績より得られた貴重な医学的知見について、脊椎外科の発展に寄与すべく国内外の学会および医学雑誌上での発表も行っている。

（部長 吉原 永武）

### ●主な対象疾患

腰椎椎間板ヘルニア 腰部脊柱管狭窄症 頸椎症性頸髄症 腰椎圧り症・分離症 頸椎椎間板ヘルニア  
後縦靭帯骨化症・黄色靭帯骨化症・黄色靭帯石灰化症 リウマチ脊椎 透析脊椎 脊髄腫瘍・脊椎腫瘍  
脊椎感染症 脊椎外傷 その他

## 学会発表（医局）

### <脊椎外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	頸髄症歩行不能例の手術転帰	筆頭演者	富田 浩之	第43回日本脊椎脊髄病学会学術集会	2014/4/18
2	PEEKケージを用いた頸椎前方固定の小経験～成績不良例からの考察～	筆頭演者	吉原 永武	第23回日本脊椎インストゥルメンテーション学会	2014/8/30
3	経皮的椎弓根スクリュー(PPS) 刺入における工夫逸脱を防ぎ透視時間を短縮する工夫	筆頭演者	富田 浩之	第23回日本脊椎インストゥルメンテーション学会	2014/8/30
4	豚咬傷による大腿骨外顆開放骨折に対し、腸骨移植と二期的骨軟骨柱移植術により関節面を再建した1例	筆頭演者	富田 浩之	123回中部日本整形外科・災害外科学会第学術集会	2014/10/3
5	強直性脊椎増殖症を合併した脊椎骨折に対する低侵襲手術の経験	筆頭演者	富田 浩之	123回中部日本整形外科・災害外科学会第学術集会	2014/10/4

## 研究会発表（医局）

<脊椎外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	当院における経皮的椎弓根スクリユーを用いた椎体間固定術の成績	筆頭演者	富田 浩之	第81回東海脊椎脊髄病研究会 学術集会	2014/6/7

## 講演（医局）

### <脊椎外科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	発表年月日
1	脊椎疾患と医療安全	吉原 永武	第20回鶴舞脊椎カンファレンス	2014/6/5
2	骨・関節系難病との上手な付き合い方 ～脊椎疾患について～	吉原 永武	平成26年度骨・関節系難病患者・ 家族のつどい	2014/11/10